



追悼のことはをささげる町長



献花をする消防団



環境リレーションズ研究所の皆さん



前川健生さん



コンサートの様子



コンサートを聴く生徒



献花をする参加者



被災緑地を飾る



赤松美紀さん



コンサートを聴く生徒



10年の歩みを伝える町長

心ひとつに 未来へ



参加した子ども達



未来への思いを話す坂本優大さん



未来への思いを話す大和田真咲さん



10年前の景色を伝える根本さん



小池都知事



スカイランタン



太平洋を望み祈りをささげる



繋がる思い



ライトアップされた
防災緑地



寄贈の竹灯籠



防波堤に並ぶ



浜街道に並ぶ



未来学園生



広野中学生

小池百合子 東京都知事からのメッセージ

広野町は、私が環境大臣の時からゆかりのある場所です。一時、就任直後の2016年11月には、こちらの防災緑地を訪れまして造成されたばかりのプレゼントツリーin広野を拝見しました。この度、震災から10年という大きな節目にあたってイベントが行われることを知りました。改題してこの場所に思いをはせたところでありました。被災地の復興は着実に進展しています。復興に向け、懸命に取り組んでこられましたみなさんの努力の賜物です。本当に頭が下がる思いであります。東京都も職員派遣や復興応援イベントなど様々な支援を行って参りました。また、この夏のTOKYO2020大会が復興オリンピック、パラリンピックとして被災地へのエールとなるよう全力で取り組んでおります。

さて、広野の新たな発電設備I-GCCがまもなく稼働すると聞いております。今後ゼロカーボンシティに向けた町の歩みも加速することでしょう。東京は、この地で発電される電力や農水産物など東北から多くの恵をいただいております。被災地への恩返し、私たちの使命です。

多くの命が奪われたあの災害を決して忘れることなく、ランタンの光に込めた皆様の思いを受け止めてこれからも応援をして参ります。広野町や浜通りが見事に復興を遂げ、未来への希望、そして人々の笑顔に満ちあふれた場所として大きく発展していくことを心からお祈りをしていただき、私からのメッセージとさせていただきます。

祈りのコンサート

広野町夢大使であるオペラ歌手の前川健生氏による「祈りのコンサート」を開催しました。『福島行進曲』や『汽車』、『高原列車は行く』といった福島メドレーなど7曲を披露していただきました。

被災の祈り

広野中学校とふたば未来学園の生徒、町民など約300人が一列に並び、震災発生時刻に合わせ黙とうを捧げました。リボンテープの端と端を握って一列に並び、心をひとつにして犠牲となられた方々に対しご冥福をお祈りしました。この祈りを未来に向けた次の復興の力に繋げていきます。

追悼献花

震災で尊い命を亡くされた方や未だ行方不明のままとなっている方に対し、震災記念公園にて追悼の献花を行いました。遠藤町長や北郷議長など約50人が参列し、犠牲者の冥福を祈りました。

スカイランタン

200個のスカイランタンを夜空に打ち上げました。この催しは、広野町の復興を支え続けてくれた認定NPO法人環境リレーションズ研究所やNPO法人広野わいわいプロジェクトが主催し、多くの皆さまのご協力によって開催されました。参加者は、未来に向けた願いを込めたランタンが、夜空を彩る幻想的な光景を心に刻みました。